

平成24年度事業評価
平成24年度事業実績一覧

(1) 市民文化の創造及び育成に関する事業【定款第4条第1項第1号】

事業概要	事業数	実施回数	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
				入場料収入	財団負担額	1人当事業費
市民文化の創造及び育成を図るため、演劇や音楽を通じ劇場自ら創造発信する「厚木シアタープロジェクト事業」に重点を置き、あつぎ舞台アカデミー公演「ドリーム・ドリーム・ドリーム～season2～」を実施したほか、「ネクストステップ第3回公演 人情噺 端敵★天下茶屋」など、合わせて5事業を実施した。	5事業	74回	2,159人 (目標2,375人)	91%	0	15,423,820
				7,331,800	8,092,020	7,144

ア 創造事業

No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
						入場料収入	財団負担額	1人当事業費
1	厚木シアタープロジェクト 第24回公演「つか版・忠臣蔵～ 厚木あゆコロ編～」	2回	6月30日(土)	小ホール	353人	94%	0	4,147,187
			7月1日(日)		351人	2,804,100	1,343,087	5,890
2	あつぎ舞台アカデミー *キッズパフォーマンスコース *運営スタッフ育成コース	オーデイション1回 ワークショップ65回 講座2回 計67回	4月～3月	展示室	キッズ 34人	100%	0	7,067,044
				集会室	スタッフ育成10人	2,242,500	4,824,544	1人当事業費は 下欄のとおり
				会議室	延べ 2,776人	No.3、No.4の 公演を含む。	キッズ34人	207,545
					活動対象 44人		スタッフ育成10人	1,050

3	あつぎ舞台アカデミー公演 「ドリーム・ドリーム・ドリーム ～season2～」	1回	9月1日(土)	小ホール	320人(完売)	100%		
		1回	9月2日(日)	小ホール	344人(完売)	100%		
						100%		
4	あつぎ舞台アカデミー 発表会	1回	3月24日(日)	展示室	163人	100%		
5	ネクストステップ第3回公演 「人情噺 端敵★天下茶屋」	2回	10月13日(土)	小ホール	297人	78%	0	4,209,589
			10月14日(日)		287人	2,285,200	1,924,389	7,208

(2) 市民文化の普及及び振興に関する事業【定款第4条第1項第2号】

事業概要		事業数	実施回数	入場者等計 (人)	参加率(%) 入場料収入	助成金等 財団負担額	総事業費 1人当事業費	
市民の運営によるコンサートを開催したほか、NHK公開番組を招致し、幅広い世代に市民文化の普及促進を図った。		2事業	2回	2,306人 (目標2,800人)	82% 537,500	0 96,084	633,584 243	
No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%) 入場料収入	助成金等 財団負担額	総事業費 1人当事業費
1	厚木ジャズ祭2012 ～県央地区ビッグバンド集結～	1回	5月13日(日)	大ホール	1,066人	76% 537,500	0 ▲ 162,971	374,529 351
2	NHK公開収録 「BS日本のうた」	1回	5月31日(木)	大ホール	1,240人	89% 0	0 259,055	259,055 208

(3) 芸術文化の鑑賞機会の提供に関する事業【定款第4条第1項第3号】

事業概要	事業数	実施回数	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
				入場料収入	財団負担額	1人当事業費
音楽、演劇、伝統芸能の公演や美術展を開催し、優れた芸術文化の鑑賞機会を子どもから大人まで広く市民に提供した。	14事業	19回	11,264人 (目標13,893人)	81%	1,416,000	25,439,006
				13,231,545	10,791,461	2,258
				上記集計は、工 共催事業を除く。		

ア 音楽、舞台公演

No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
						入場料収入	財団負担額	1人当事業費
1	松竹大歌舞伎	1回	9月24日(月)	大ホール	481人	34%	0	6,702,481
						2,943,395	3,759,086	13,934
2	Sコンサート ※助成：地域創造	1回	1月27日(日)	小ホール	316人(完売)	84%	1,416,000	3,163,353
						349,500	1,397,853	10,011
3	あつぎ寄席「笑納」 “名人二人会” 三遊亭小遊三・柳家権太楼 他	1回	12月9日(日)	小ホール	319人	85%	0	1,238,081
						890,500	347,581	3,918
4	ディズニー・オン・クラシック	1回	9月29日(土)	大ホール	948人	68%	0	10,477,583
						7,634,960	2,842,623	11,052
5	小山実稚恵 ～華麗なるショパンの世界～ (最終回)	1回	2月16日(土)	小ホール	366人(完売)	97%	0	1,319,699
						1,372,690	▲ 52,991	3,606
6	音楽家と厚木市の子どもたちをつなぐ 文化会館事業 「厚木市文化会館応援アーティスト によるプログラム」 春の花華コンサート	1回	3月3日(日)	集会室	80人(完売)	100%	0	242,839
						40,500	202,339	3,035

イ 美術展

No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
						入場料収入	財団負担額	1人当事業費
7	第48回神奈川県美術展 厚木巡回展	1回	10月3日(水) ~14日(日) 【10日間】	展示室	554人	100%	0	770,570
						0	770,570	1,391

ウ アウトリーチ事業

No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
						入場料収入	財団負担額	1人当事業費
8	八木のぶお ブルースハーブコンサート 演奏:八木のぶお、ウエキ弦太	1回	6月27日(水)	玉川注学校	40人 3年生	100%	0	1,524,400
						0	1,524,400	2,747
9	出前コンサート テノール:上原正敏 ピアノ:大須賀恵里 厚木市文化会館応援アーティスト	4回	12月5日(水)	飯山小学校	155人 1・2・4・5年	計 555人		
			12月7日(金)	三田小学校	140人 2年生			
			12月13日(木)	荻野中学校	80人 2年選抜合唱チーム			
			12月14日(金)	厚木第二小学校	140人 6年生			

エ 共催事業

No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
						入場料収入	財団負担額	1人当事業費
10	デビュー35周年記念 松山千春コンサート・ツアー2012 松山千春の世界	1回	4月14日(土)	大ホール	1,309人 (完売)	94%		
11	東宝ミュージカル 「ミス・サイゴン」	3回	8月18日(土) ・19日(日)	大ホール	①1,216人	86%		
					②1,192人			
					③1,219人			

12	クレイジー・ケン・バンド TOUR 2012-2013 ITALIAN GARDEN	1回	2月8日(金)	大ホール	1,011人	72%		
13	綾小路きみまろ 爆笑スーパーライブ	1回	2月20日(水)	大ホール	1,380人 (完売)	99%		
14	あつぎ寄席「笑始」 “花形！三つ巴共演会” 柳家喬太郎・林家三平・春風亭一之輔他	1回	2月24日(日)	小ホール	318人	85%		

(4) 文化情報の収集及び提供に関する事業【定款第4条第1項第4号】

厚木市文化会館で開催される公演情報を広く市民に提供するため、厚木市文化振興財団ニュース「ぶんか情報館」を4回発行し、市広報紙に折り込み市内全世帯、友の会会員へ配布。また、「厚木市文化会館スケジュール」を毎月発行し、公共施設等を通して市民に配布するとともに、インターネットを利用した情報提供として、(公財)厚木市文化振興財団ホームページに各種公演情報や施設利用案内等を掲載した。

- * 厚木市文化振興財団ニュース「ぶんか情報館」の発行
発行回数 年4回
(6月1日、9月1日、12月1日、3月1日)
発行部数 タブロイド版・4ページ 88,000部
- * 厚木市文化会館スケジュール
発行回数 毎月1日発行
発行部数 A4版 2ページ 1,400部
- * ホームページ情報掲載
「ぶんか情報館」発行時及び随時更新
- * 事業費 4,657,382円

事業収入	助成金等	総事業費
		財団負担額
272,000	0	4,657,382
		4,385,382

(5) 芸術文化振興に関する調査研究に関する事業【定款第4条第1項第5号】

事業計画の立案に資するため、公演実施ごとにアンケートを実施したほか、利用者アンケートを実施した。

- * 事業費 14,500円

(6) 芸術文化振興のための国際交流に関する事業【定款第4条第1項第6号】

国際交流の一環として、「シネマ歌舞伎」(英語字幕)を実施の予定であったが、配給元の機材の故障により実施できなかった。

(7) 文化施設の管理運営に関する事業【定款第4条第1項第7号】

厚木市文化会館の指定管理者(第3期)として、利用者が各施設を最良の状態で行けるよう施設の適正な管理運営に努めた。

* 事業費 169,520,617円

* 指定管理者指定期間

第3期:平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年間)

* 施設管理運営事業費(指定管理料) 121,234,000円

* 利用状況

区 分	平成24年度				平成23年度				比 較			
	利用可 能日数 A	利用 日数 B	利用率 (%) C=B/A	利用者 数(人) D	利用可 能日数 E	利用 日数 F	利用率 (%) G=F/E	利用者 数(人) H	利用可 能日数 A-E	利用 日数 B-F	利用率 (%) C-G	利用者 数(人) D-H
大ホール	283	176	62.2	128,769	283	171	60.4	129,617	0	5	2	▲ 848
小ホール	284	248	87.3	62,275	284	229	80.6	55,639	0	19	7	6,636
集会室	283	253	89.4	22,928	283	227	80.2	18,166	0	26	9	4,762
展示室	283	178	62.9	19,613	283	163	57.6	17,978	0	15	5	1,635
和室 さつき	283	135	47.7	2,711	283	109	38.5	2,574	0	26	9	137
和室 もみじ・ゆり	283	122	43.1	4,245	283	100	35.3	3,753	0	22	8	492
会議室 301	284	191	67.3	2,154	284	165	58.1	1,650	0	26	9	504
会議室 302	284	226	79.6	5,353	284	202	71.1	4,284	0	24	8	1,069
会議室303(練習室)	284	145	51.1	1,665	284	144	50.7	1,637	0	1	0	28
会議室 304	284	184	64.8	3,726	284	161	56.7	2,949	0	23	8	777
合 計	2,835	1,858	65.5	253,439	2,835	1,671	58.9	238,247	0	187	7	15,192

平成24年度事業評価

《 2次評価【理事会による評価】 》

【24年度事業の評価】	A 大変良い(大いにある)	B 良い(ある)
	C ふつう(少しある)	D 良くない(ない)
【今後の方向性】	a 拡大	b 継続
	c 一部見直し	d 見直し

(1) 市民文化の創造及び育成に関する事業

24年度事業 の評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	C	有効性	A
評価 説明	<p>演劇や音楽を通じ劇場自ら創造発信する「厚木シアタープロジェクト事業」に重点を置き、あつぎ舞台アカデミー公演「ドリーム・ドリーム・ドリーム～season2～」を実施したほか、「ネクストステップ第3回公演 人情噺 端敵★天下茶屋」など5事業を実施した。</p> <p>本事業については、財団自らが発信する事業として、充実した内容が実施できたものと認められ、特に、あつぎ舞台アカデミーでは、子どもたち自らが参画するという事業目的を中心として、所期の目的を十分達成できたものと判断できる。</p>							
今後の 方向性	b	あつぎ舞台アカデミーを主軸に現行事業の推進を図りながらも、今後の事業の在り方、展開等について研究を進める必要があると考える。						

(2) 市民文化の普及及び振興に関する事業

24年度事業 の評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	A	有効性	B
評価 説明	<p>市民の運営による厚木ジャズ祭を開催したほか、NHK公開番組を招致するなど、幅広い世代に事業展開を進めた。</p> <p>実施した2事業ともに盛況に開催できた。</p>							
今後の 方向性	a	現行事業の充実と、厚木ジャズ祭の運営形態にならい、事業メニューの充実について研究を進める必要があると考える。						

(3) 芸術文化の鑑賞機会の提供に関する事業

24年度事業の評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	B	有効性	B
評価説明	<p>音楽、演劇、伝統芸能の公演や美術展等を開催し、優れた芸術文化の鑑賞機会を子どもから大人まで広く市民に提供した。</p> <p>開催事業のうち、Sコンサートや館外でのアウトリーチ事業など、財団の企画による事業展開を含めて、幅広い事業を実施することができたものとする。</p> <p>しかしながら、いくつかの事業において参加率の低い状況が見られるため、公演内容も含めて検証する必要があると考える。</p>							
今後の方向性	b	<p>市民ニーズの把握に努め、質の高い舞台公演、展示会等の開催や誘致を目指す必要があると考える。</p>						

(4) 文化情報の収集及び提供に関する事業

24年度事業の評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	B	有効性	B
評価説明	<p>厚木市文化会館で開催される公演情報を広く市民に提供するため、厚木市文化振興財団ニュース「ぶんか情報館」を4回発行し、市広報紙に折り込み市内全世帯、友の会会員へ配布。また、「厚木市文化会館スケジュール」を毎月発行し、公共施設等を通して市民に配布するとともに、インターネットを利用した情報提供として、(公財)厚木市文化振興財団ホームページに各種公演情報や施設利用案内等を掲載した。</p> <p>「ぶんか情報館」が重要な広告媒体であるため、今後も内容の充実を図る必要がある。</p>							
今後の方向性	a	<p>ぶんか情報館は財団最大の広報媒体として位置付けられることから、各種催物の周知に努め、参加者増加により一層寄与するよう内容の充実にも努めるとともに、発行回数の増加や他の広告媒体のより一層の活用を検討する必要があると考える。</p>						

(5) 文化振興に関する調査研究に関する事業

24年度事業の評価	必要性	B	妥当性	C	効率性	A	有効性	B
評価説明	<p>事業計画の立案に資するため、自主事業開催の際に、参加者アンケートを実施しているが、各ジャンルへの関心の高い人が対象であるため偏りがある。</p> <p>今後、機会をとらえてモニタリングの実施を検討する必要があると考える。</p>							
今後の方向性	b	<p>事業計画立案に当たり、確かな市民ニーズを把握するために更に調査研究を進める。</p>						

(6) 市民の国際文化交流の促進に関する事業

24年度事業の評価	必要性	B	妥当性	B	効率性	C	有効性	B
評価説明	国際交流の一環として「シネマ歌舞伎」(英語字幕)を実施の予定であったが、配給元の機材の故障により実施できなかった。今後、同様の事業を実施するに当たっては、故障等のアクシデントに対応できるような配慮が必要と考える。							
今後の方向性	C	事業そのものは非常に有意義であるので機会があれば継続する努力をするとともに他団体等との共同開催などについても研究を進める必要があると考える。						

(7) 文化施設の管理運営の受託に関する事業

24年度事業の評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	B	有効性	B
評価説明	厚木市文化会館の指定管理者(第2期)として、利用者が各施設を最良の状態で見込めるよう施設の適正な管理運営に努めた。 施設の老朽化に伴う修繕等の経費の増加が見込まれる中で、安全な施設管理と利用者のサービス向上に努めた。 また、財政状況も厳しい中、利用料金の安定的な確保に向けて、より一層利用しやすい施設運営を模索し、改善に向けて取り組む必要があると考える。							
今後の方向性	b	安心安全な施設管理を基本に、利用率の向上に向けて、利用しやすい環境整備について研究を進める必要があると考える。						